

つるのおんがえし



七年間で祝50号！
112名様へお届けしています。

50号 平成25年4月発行

発行：株式会社 感動・創庫
〒259-1211
平塚市ふじみ野2-14-6-101
TEL/FAX:0463-67-1896
mail:info@kando-soko.com
http://:kando-soko.com
発行編集責任者：芦川永光

今年はいよいよ花粉症デビューの方が多かったようですが、私はまだ大丈夫みたいです。花粉症がツラかった皆さま、お仲間になれずゴメンなさい！という事で、こんにちは。花粉症は秋限定(多分、ブタクサ)、感動・創庫の芦川永光です。

5回目の新年度を迎える事が出来ました！この春の感動・創庫は、新しい事がもりもりっ！！盛りだくさんなのです。まず、事務所が2回目のお引っ越しです。前



パーマスタイルから、
サッパリ爽やか路線へ。
だって、春ですもの♡



Satila hairさんの
新オープンのお店にて

回は藤沢↓平塚でしたが、今回は平塚からお隣の伊勢原市への移転です。「いせはらポストなのに平塚なんですね〜」という手厳しいツッコミによくやく真正面から向き合えそうで、一安心です(笑)。5月に引っ越しなので、また次回号で詳しく紹介しますね。

ポスティングエリア 拡大します！

そしてポスティング事業。愛甲石田駅周辺のお客様から「いつや

るの？ねえ、いつやるのよ？？」とだいぶ長くお待ち頂いておりました。が、「いつやるか？今でしょ!!」という事で、5月から厚木市愛甲周辺のエリアを拡大いたします。愛甲石田駅周辺の皆様にご利用頂く機会が増えそう、ととてもワクワクしています。

新入社員が入りました。

さらにさらに、待望の新入社員が入りました。実はブログなどではすっかり小告知しちやいま

したが、坂井の妹がポスティング事業部に加わりました。お客様は売上数倍増の方も続々：なのに自分たちはここまで5年半。モタモタしてたつもりはないんですが、ようやく一歩前進で3人体制となった感動・創庫でございます。僕が一人で抱えていたポスティング事業の「営業」「配付組織管理」「経理」という3つの業務を少しずつ引き継いでいきます。幸い、仕事の飲み込みはとも早く、引き継ぎをしながら、自分なりにカスタマイズ出来る器用さもありです。どんな職場でも中心で活躍していた人なので、これらが本当に楽しみです。
という訳で、たまに登場していた坂井祐子に、決意表明を…とまあ、堅苦しい事は抜きにして、自己紹介頼むよっ！

こんにちは、4月からついに！感動・創庫に来ちゃいました、坂井祐子です。3月までは自然がいっぱいの山北町でお固く、真面目に、楽しく公務員していました。

好きな食べ物は辛〜いカレーと炙りしめ鯖です。趣味は山登り。大山はもちろん丹沢山系は登り尽くしています！日本標高1位・2位は登ったので、今年は3位に挑戦したいと思っています！

それとついで、念願のMy畑を手に入れました！

家庭菜園でたくさん美味しい野菜を育てます。

ポスティング事業部長として、楽しく笑顔で、なおかつ真面目にばりばり頑張ります！社長の芦川が若干面倒くさい(実際に面倒くさいですよ〜笑)と思っているそこのあなた！ポスティング関係のことならぜひ私に連絡をしてください！待ってます(笑)

まだまだ手探りでわからないことかもしれませんが、応援してくださいね。どうぞ宜しくお願いします。



東京モーターサイクルショー in東京ビッグサイト

楽しい♪
最高ー!!!



30歳でバイクの免許をとってから実に6年半。ずーっとずーっと行きたいなあと考えておりました、ようやく今年叶いました。

世界各国から最新のバイクがたーくさん集まったこのイベント。バイカーはもちろん、カメラ小僧なども入り乱れて、3日限定の男子の遊園地は、異様な熱気と油の香りに包まれていました。

試乗会に参加しました!!

今回乗ったのは、イタリアのオフロード専門メーカー、ハスクバーナの650cc(ここで初めて名前を知りました)。モトクロスは悪路を走るためにシート位置が高いため、身長172cmの短い脚では届かない??と思いきや、乗り手に配慮したちょうど良い高さのシートでした。



「ローマの休日」でおなじみ、ベスパのブースです。昔ながらのスタイルのものから新しさを取り込んだベスパまで、様々ありました。とにかくオシャレ!

そして、コースを3周ぐるぐる~~~~。途中、攻め気味にスラロームを走ったり、カーブではちょっとだけスピードを上げさせてもらいました。車体は軽いけどふらつがないし、クラッチもすごく繋ぎやすいので初めて乗ったのに危なっかしくない!モトクロスの価値観がガラッと変わりました。欲しいものリストに追加!となったのでした。



でかいバイクはどんな大人も
やんちゃにしちゃいます。



BMWからスポーツスクーターが初登場です。いわゆるオートマってやつですね。BMWは優等生のバイクなので、このスクーターもさぞかし走りやすいことでしょう。



イギリスの貴族風バイク!? トライアンフは渋い大人に選ばれる、二度見間違いナシの素敵なバイクが充実。50歳過ぎたくらいに、若々しく乗りたいなあ。



ヤマハは中学生の頃の憧れでした。最新のSR400、だいぶ進化していました。このエンジンはなじめばなじむほど、ユーザー特有の「始動のコツ」が生まれる不思議なバイクなのです。

キレイなお姉さま方との記念写真タイム



バイクを手放したのが、昨年春。一年経ってバイク熱は冷めた、はずでしたが実際に乗ってしまったら、いや〜、やっぱり乗りたい! ということで、モリモリ稼ぐぞ〜!と仕事への大きな意欲につながるイベントでございました。来年もゼツタイ行こうと!



白パイにもまたがってみました。この充実装備を見る限り、逃げても無駄だなあと痛感しました(笑)



このクラシカルな雰囲気は、ロイヤルエンフィールドのブースです。インド産のエンジンは味わい深い音と鼓動がするんですって。街乗りに使ってみたい!

oyazika committee

元記事は日経マーケティング ジャーナルからです。東急ストアがインターネットと連動した料理メニューの提案に力を注いでいる。10月からレシピ投稿サイトのクックパッドと組み、サイトに掲載してあるメニューと食材を販促用のチラシで毎週紹介。店頭でもボードで食材をアピールしたり、レシピカードを配布したりしている。クックパッドは若い女性の閲覧が多い。ネットと売り場を連動させることで新たな顧客層を掘り起す。

今回のテーマ 「ネットとリアル」の境界線がなくなりつつある」 後編



日々激動の時代！ だからこそ青川永光36歳、宣言します。

クックパッドは料理レシピの検索専門サイトで、閲覧者は月間2000万人(クックパッド調べ)。数百万人規模の登録会員のうち9割近くが女性で、このうち20〜30代が7割。スマホなどの普及も相まって、クックパッドの利用者は増え続けているのです。東急ストアはこのクックパッドをリアル店舗、つまり食品コーナーでの有効活用を始めたのです。

なすを売るのに、ココまでやるんです

東急ストアのとある一店舗の試みを紹介します。ずらりと並ぶナスの前には見慣れた値札と一緒に「今日のおすすめメニュー」と大書されたボードを掲示。この日の提案メニューは「なすのポート☆肉詰めチーズ焼き」。当日のクックパッドに掲載



されているメニューと同じ内容だ。材料や作り方、コツを記載したレシピカードも配布している。店頭だけではない。主婦らが来店前に目を通すチラシにも、同じメニューが特売のナスとともに掲載してある。チラシを見て店を訪れた顧客が、すぐに手に取りやすいように店頭で目立つ「特等席」を用意。

大切なのは、売れる仕組みづくり

どうですか？ここまで周到に準備してなすの販売をしているわけです。もちろんこれはネットの利便性があるからこそ。本来(受動的に)探してもらい、閲覧してもらった情報を、伝え方の工夫一つで能動的に情報を受信してもらい、効果的に消費行動を

促しているんですね。

クックパッドが週替わりで設定しているテーマに合った複数の料理の中から「手軽に作れるもの」を東急ストアが選び出し、そのメニューは毎週月曜日に配るチラシに掲載。売り場やレシピカードも週ごとに作り替え、月々木曜日まで提案するという、「売れる仕組み」が出来上がったのです。やるのがシンプルで明確なので、これは長続きも出来そうですよね。



ネットとリアル」の顧客層を分析

東急ストアの顧客層は50〜60歳代が中心。クックパッドの活用で新たな顧客層の広がり(利用者の多い20〜30歳代に訴求を期待出来ます。サイトのアクセスはスマート

フォン(スマホ)が3割以上。時間帯では午後4〜6時が閲覧のピークなので「帰宅途中などに立ち寄った店内で献立を決める人が多い」動向、さらに顧客がメニュー(献立)を決める「ゴールデンタイム」をしっかり取り込む効果が見込めるわけです。

検索専門サイトは、「何でもある」時代

ネットとリアル」の境界線を取り払う、紙とネットを連動させた仕組み。簡単レシピの多いクックパッドのお手軽感が、購入スイッチとなるこの一例は、意外と簡単に出来るようなのが良いですね。今やちょっとした調べものは簡単に探せるインターネット。どんな業種にとってもクックパッドのような専門サイトはありますから、ぜひ調べてみてください。実店舗がある方にはご商売を加速させる、素晴らしいアイデアが落ちているはずですよ。



心に響く
感動の格言

いじわるされるたびに
しんせうにしゃべったら
どろどろだらだら
ドラえもん

漫画ドラえもんの中から紹介する名言です。
「所詮は綺麗ごと」「そんなこと出来るわけ無い」と思えるような言葉かもしれませんが、こんな大胆な理想を持ってたら、それはそれで素敵だなんて思います。この「どうだろう」という問いかけ。みんながこれに気付くようになったら、きっとドラえもんが叶えてくれるような素敵な世の中になりますよね。

編集後記

こんにちは、涼子です。表面でも紹介しましたが、妹が一緒に働くことになりました。それにしても、お互いに30歳を過ぎてこんなこともあるのかと、人生面白いなあと思います。妹は、北海道の農業大学へ下宿をして、卒業後も都内や沖縄まで住んでいたり、15年くらいは別々に住んでいます。まさか一緒に仕事をすることが来るとは！本当にびっくりです。

妹はものすごく若く見られるので、3歳年下なのに「いぶん年の離れた妹がいるのね」と言われることも。それとも私が、老けているのでしょうか？ ちよっと、複雑です。笑

そして彼女は、とても絵が上手いので、私は早速色んなイラストを描いてもらっています。美大まで出ているからと言って、絵が上手いとは限らないんですね。当時は、さんさん描きましたけど、これからは、3人で頑張りますのでよろしくお願いします。

は！本当にびっくりです。

